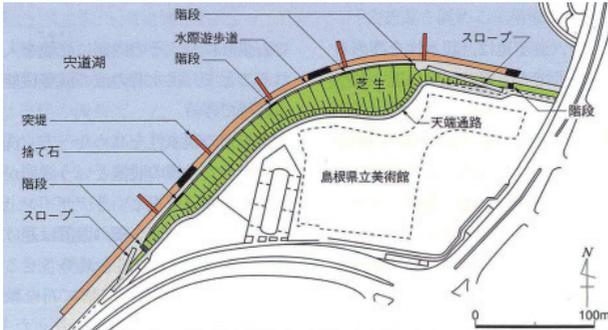


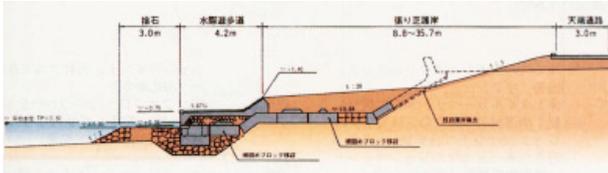
## ⑦ 景観設計・ランドスケープデザイン・支援

■ 穴道湖県立美術館前護岸・岸公園 [日本建設コンサルタント(現・いであ) / 国土交通省中国地方整備局] 1995-98

松江市の穴道湖、水的美術館(県施設・設計: 菊竹清訓)の前面に広がる湖岸(国)との間の公園(市)の一体設計の事例。プロポーザルを経て、基本・実施設計のうち景観設計を担当。従前のコンクリート護岸を極力緩傾斜の芝生の自然な土堤構造に改修する提案が採用され、水際の遊歩道と、生息するしじみの生態に配慮する伝統的工法の杣杭と石塊による突堤を配することで、水の流速が弱まることで砂の自然堆積による砂浜の復元を目指すとともに、柵を設置しない方式での歩行者安全性への対策を行ったもの。美術館の敷地が自然にゆるやかな斜面の芝生には彫刻を配し、水際遊歩道、湖面へとつながる。今では穴道湖に沈む夕日を望む観光名所ともなっている。



計画断面図



計画断面図



改修前の護岸状態



完成した水際遊歩道

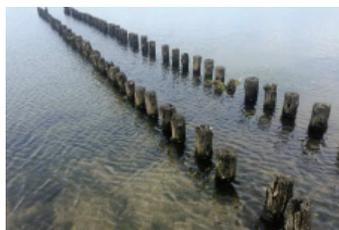


岸公園全景

■松江・宍道湖県立美術館前護岸・岸公園（つづき）



緩斜面の土堤には彫刻が置かれ、あたかも美術館の敷地から自由に入出入りできる



水際の伝統工法による松杭の突堤



美術館脇の遊歩道からは芝生斜面が水面につながる



嫁が島を望む絶好の写真撮影スポット、芝生の土堤に置かれた彫刻がアクセントともなる



彫刻の置かれた芝生土堤で遊ぶ親子連れ



芝生面は自由に歩けるように設えられている



美術館脇の遊歩道からは宍道湖が間近に望める



土堤に置かれた彫刻

経緯 プロポーサル-'95.12(特定・元請・備いであ[社名変更・当時・日本建設コンサルタント]) アプルは景観設計を担当 / 基本・詳細設計-'96.1~'97.3 / 受賞等:  
 '95年度中国地方建設局長表彰、'00年しまね景観賞、'04年土木学会景観デザイン賞最優秀賞受賞 諸元 名称: 岸公園(宍道湖袖師親水型護岸堤) 所在地: 松江市  
 袖師町 事業主体: 国土交通省(当時・建設省) 中国地方整備局出雲工事事務所 湖岸延長: 421.0m 護岸幅: 22~48m / 対象面積: 約8,400㎡ 設計:  
 (備いであ+アプル)総合計画事務所 工事期間: '97.3~'99.3 施工: 松江土建、豊洋建設、広戸組 担当: 中野、重山、浦岡、中井